

科目名	建築生産 1							年度	2025
英語科目名	Building Construction 1							学期	後期
学科・学年	建築学科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	井上 英勝	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】 ・工事の請負形態・契約・工事管理と監理者・施工管理・管理方法・仮設工事などについて学ぶ。 ・木造工事において、在来軸組み工法を中心に、基礎工事や組み立てに関する内容を学ぶ。 ・鉄筋コンクリート工事において、鉄筋工事・型枠工事・コンクリート工事ごとに工事に関する内容を学ぶ。									
【科目の概要】 教員の経験をもとに、実際の工事現場で行われている作業や管理業務について解説する。また、建築の国家試験に必要なキーワードや基準値などのポイントを押さえて授業を行う。項目ごとに練習問題を行い、不明な点を繰り返し見直して理解したうえで次のステップへ進むこと。									
【到達目標】 A. 受注者（元請負）・発注者（施主）・監理者の関りや、施工管理に必要な項目とその管理手法が理解できる。 B. 地盤調査・基礎工事・仮設工事などの事前工事の内容や管理ポイントが理解できる。 C. 木造と鉄筋コンクリート造の工事内容や管理ポイントが理解できる。									
【授業の注意点】 身の回りには建築工事現場がたくさんあるので、興味を持って工事を観察し、疑問点があれば授業で質問するように心がけること。また、建築一般構造や建築材料の授業と密接に関連しているので、それらのテキストも適宜参照すること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	工事請負契約が説明でき、管理とその細目について説明できる。	工事請負契約を理解し、管理のデミングサークルを説明できる。	工事契約三者の関りを理解し、工事管理がわかる。	QCDSEを理解していない。管理と監理がわからない。	授業に欠席がち、または授業に集中していないので、わからない。				
到達目標 B	工事現場の状況に応じて事前工事の計画ができる。	工事現場の状況に応じて事前工事が理解できる。	仮設工事は分かるが、地盤調査や基礎工事がわからない。	仮設工事が部分的にわかるが、地盤調査や基礎工事に興味を示さない。	授業に欠席がち、または授業に集中していないので、わからない。				
到達目標 C	木造・鉄筋コンクリート造の工事について説明できる。	木造・鉄筋コンクリート造の工事内容がわかる。	躯体工事の内容はわかるが、基準値や工法の使い分けがわからない。	躯体工事の内容がわからない。	授業に欠席がち、または授業に集中していないので、わからない。				
【教科書】 初学者の建築講座建築施工、ビジュアルハンドブック必携建築資料									
【参考資料】 必要時、配布する。									
【成績の評価方法・評価基準】 項目ごとに行う練習問題と授業への取り組み状況を40％、期末試験の評価を60％として評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

